

**市民の人柄**：地元で長い付き合いのある友人・知人がいて、人と人との繋がりが暖かさを感じている。また、自分自身で取り組もうとする気質があると感じている。

**市民による活動**：熱心に活動している団体があり、団体同士の横の繋がりが行政との連携も取れている。こうした団体に参加している市民ははつらつと活動している。

**雰囲気・空気感**：「ちょうどいいまち知多」が市民に浸透しているように、まちの落ち着き、ほどよさを魅力としてとらえている。これらは「みどり」と「市民の人柄」から引き出されたものと考えられる。

**みどり**：自然というキーワードが非常に多く登場したが、海や生物よりも、農地やため池、用水、雑木林、緑地帯など、人の手が掛かった「みどり」の空間が知多市を象徴する空間ととらえている。

**地理条件**：名古屋に程よい距離にありセントレアにも近いなど、近隣地域の利便性を享受しながら、落ち着いた暮らしを実現できている。こうした地理環境が、将来の市民生活に好影響をもたらすと考えている。

**歴史・伝統**：市が誕生して50年ほどの歴史であるものの、長きにわたり市民が継承してきた祭りや文化、古くからの街並み等を価値あるものと認識している。

